

われら小千谷市消防団

No. 35

団報 火の見やぐら

火事と救急は119番

発行 小千谷市消防団本部（広報部）

2019年10月号



新潟県消防大会出場（上越市にて）

平成31年4月から令和元年9月まで主な活動内容

4月・春の火災予防運動

- ・一日消防署長
- ・辞令交付式・幹部、新入団員規律訓練
- ・一人暮らし高齢者宅への防火訪問
- ・信濃川河岸段丘ウォーク参加

5月・観桜会

- ・北魚沼地区支会訓練会
- ・水防訓練

6月・片貝防火ウォーク参加

- ・部長スキルアップ講座
- ・北魚沼地区支会ポンプ操法競技会
- ・特別消防団打合せ会議

7月・北魚沼地区支会幹部研修会

8月・新潟県消防大会ポンプ操法競技会

- ・おぢやまつり参加

9月・小千谷市地区別防災訓練

- ・片貝まつり特別警戒

富井消防団長再任の挨拶

日頃、皆さんには献身的に消防団活動にご尽力頂き、心より感謝を申し上げます。

さて、平成27年度より一期四年、消防団長として皆さんから力をお借りし、任期を全うする事が出来ました。その間、至らぬ点多々あったと思われませんが、演習、訓練会、会議など各種行事、火災、風水害などの災害対応、第四次消防団整備計画の施行など数々の活動及び消防団運営に対しましても、感謝を申し上げます。私にとってあつという間の四年ではありましたが、昨年十二月十三日に開催された臨時副分団長以上会議に於いて団長再任の推薦を受け、今後四年、団長職をお引き受けする事となりました。今、全国的に少子高齢化、人口減少、地域に対する愛着心の希薄化、産業構造の変化など多くの環境の変化によって消防団員数が減少していますが、小千谷市でも例外ではなく減少傾向にあり、地域防災力の低下が懸念されております。その他にも多くの課題がありますが、皆さんから意見を頂きながら、活動しやすい環境づくりに取り組んでいきたいと考えております。

結びになりますが、今後四年、私に力を貸していただき、伝統ある小千谷市消防団を継承するためにもご理解とご支援、宜しくお願い致します。



春の火災予防運動

春の火災予防運動が4月1日(月)から7日(日)の期間で行われました。今年度の全国統一防火標語は『**ひとつずつ いいね！で確認 火の用心**』です。連日各団による防火広報が行なわれた他、4月3日には一日消防署長が行なわれました。

一日消防署長

4月3日(水)、春の火災予防運動の一環として「一日消防署長」が行われました。

今年の一日消防署長は、片貝小学校6年生の堀井叶愛さんと、吉井彩菜さんが務められました。消防団からは、女性部の南雲副分団長と石田部長の2名が参加しました。

当日の朝、庁舎前にて渡邊消防長から辞令を受けた後、訓練礼式に移り、点検者を緊張させながら務めました。



その後、JA新潟厚生連 小千谷総合病院へ防火査察に向かいました。

病院では、防火設備や消火設備、避難経路等の説明を真剣に受けられていました。



続いて、イオン小千谷店での放水展示訓練では、堀井さんと吉井さんの指揮により、放水が行われました。少し寒かったようです。店内では、防火広報として、みんなでチラシを配りながら防火を呼びかけました。

消防署に戻ってからは、新型はしご車の乗車体験をしました。最新のはしご車の凄さに驚きです。

その後、通信指令室で見学したのち、消防長より認定証が交付され、「一日消防署長」の体験を終了しました。堀井さん、吉井さんお疲れ様でした。



ひとり暮らし高齢者宅防火訪問

4月18日(木)午後と19日(金)午前、ひとり暮らし高齢者宅防火訪問が行なわれました。18日は南雲副分団長が、19日には大淵分団長が参加し、訪問先の高齢者に防火指導を行いました。

辞令交付式並び幹部・女性部及び新入団員訓練

4月7日(日)、消防本部3階講堂に於いて消防団員辞令交付式が行われました。

4月1日付で新たに入団した団員と、副分団長以上に昇任された団員に富井団長より辞令が手渡され、第1分団第5部団員の石坂誠さんが宣誓書を読み上げました。

その後、新入団員は引き続き講堂にて座学を受け、庁舎裏駐車場へ移動し規律訓練と機械器具取扱訓練を受けました。一度の訓練では身につくことも少ないかと思えます。先輩団員の皆様は、日頃の指導・訓練をよろしくお願いします。



併せて、庁舎前駐車場に於いて、幹部団員並びに女性団員の部隊訓練も行われました。隊編成の指揮は行う機会が少ないので忘れてしまいがちです。幹部の皆さんは大変とは思いますがしっかりマスターし、今後の訓練に繋げて行ってください。参加した皆さんお疲れさまでした。

辞令交付式に先立ち、消防団互助会役員会が行われました。

互助会には福利厚生の一環として、消防団活性事業費などが計上されています。分団と部と、別個に用意されていますが申請は一緒でも良いです。団員のための費用ですので有効利用いたしましょう。

新はしご車公開展示

4月28日(日)、消防本部駐車場に於いて、市民を対象にした新はしご車のお披露目展示が行われ、女性部も受付係などで協力いたしました。

はしご車は、救助出動も実演。要救助者役は大塚市長さんが務められました。

女性部は水消火器訓練もサポート。子供たちに大人気でした。



信濃川河岸段丘ウォーク参加

4月29日(月)、今年も防火ウォークと称して、信濃川河岸段丘ウォークに参加しました。

女性部からは大淵さん、南雲さん、石田さん、川上さん、本団員からは水内さん、渡部さん、佐藤広報担当が参加しました。また、プライベートで渡邊消防長と富井団長も参加されました。

今年は新はしご車の公開展示を兼ね、市民の中から選ばれた親子がはしご車へ乗り込み、スターターを務めました。



今年も天候に恵まれ、順調に歩みを進めた一行。昼食はいつものおじゃ～るにて、輪になっておにぎりとサービスの豚汁をほおばりました。

食後、恒例の花の種を配り防火をPR。年々女性部の皆さんは慣れて、手際よく配り終えていきます。もらった皆さんも笑顔でした。



その後再びサンプラザのゴールを目指した消防団一行。今年も皆さん無事に完歩出来ました。帰りのバス待ちで買っていただいたアイスも美味しかったです。また来年も参加しましょう！

観桜会

5月1日(水)、令和初日となるこの日、ホテル千景に於いて、観桜会及び消防庁長官定例表彰祝賀会が行われました。

今年は、間野分団長、和田分団長が表彰を受けられました。長い間のご活躍、本当にご苦労様です。また、これからも後輩のご指導よろしくお願いいたします。



令和元年度北魚沼地区支会訓練会

5月12日(日)、北魚沼地区支会訓練会が、ポンプ操法訓練並びに中級幹部訓練・ラッパ隊訓練は魚沼市広神庁舎に於いて、機関員講習会が小千谷消防本部に於いて行われました。

ポンプ操法訓練では、県審査員の魚沼市消防本部の星真人消防士長が主導し、実技を交えながら訓練が行なわれました。



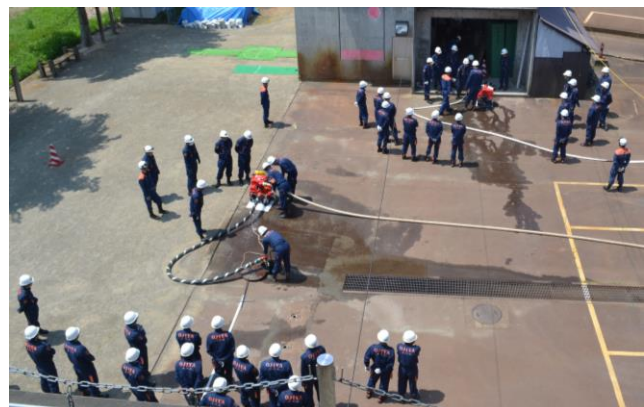
小千谷市からは第3分団、第5分団、第8分団が参加。小型ポンプ操法に出場する第8分団は展示も担当し、皆さん相互理解に努めていました。

中級幹部訓練は、午前中は広神コミュニティーセンター内で、小千谷消防本部の村山次長より講習を受けた後、体育館へ移動し、規律や隊編成の訓練などを行いました。また、午後から参加のラッパ隊は、和田ラッパ隊長を講師に訓練を進め、後に中級幹部と合同訓練を行いました。



機関員講習は、それぞれの消防本部を会場に行われました。小千谷会場では、消防本部の小川知昭消防士長より座学講習を受けた後、数組に分かれて実技講習が行われました。

放水体験をする中で、日頃機材に触れていない団員も見られました。いざという時の為にも、普段から資機材に接し、慣れておくよう指導がされました。



令和元年度大河津・長岡・越路地区合同水防訓練

5月19日(日)、今年是小千谷市高梨地先、越の大橋下流左岸河川敷を会場に大河津・長岡・越路地区合同水防訓練が行われました。

この訓練は、出水期にあたり、水防技術の向上及び水防体制の強化を図り、併せて地域社会に対し、水防の重要性の認識を高めることを目的としています。

出場隊は、第1分団、第2分団、第8分団の3隊でした。第1分団は月の輪工、第2分団は木流し工、第8分団はT型マット工を担当しました。

訓練はまず、基本訓練として、土のう作り、縄結び(いぼ結び、かみくくし)を本団員指導にて行いました。



開会式後、実施訓練が行われ、出場分団はそれぞれ担当の工法に挑みました。工法自体は良好との評価をいただきましたが、例年のことですが準備段階での問題点が多く報告されました。事前会議等でも話し合われていることなのですが、何かを決めても実行されないことが多く、引継ぎ等も上手く行っていないように思われます。今後も同じ事が課題となっていくことと思います。



片貝防災ウォーク

6月2日(日)、女性部主導で防火ウォークとして片貝町防災・健康ウォークに初参加いたしました。

女性部からは南雲さん、石田さん、川上さん、村田さん、本団より渡部さん、佐藤広報担当、また地元消防団員も数名が参加し、防火PRに努めました。コースは約10kmで、宝徳社や帝国石油、巴ヶ丘自然公園を回るコースはとても新鮮な気分で楽しく歩くことができました。



J A越後おぢやさんが主催のこのイベント、ゴール後にとても美味しいおにぎりと豚汁がサービスされました。あまりに美味しくて豚汁をおかわりしたのですが、飲み終わるごとにまだあるよとの声。何度もお言葉に甘えているうち、まさかのおなかの苦しくなるほどに…そこまで豚汁を頂いたのは人生初でした。本当にご馳走様でした。



消防団各部長スキルアップ講座

6月9日(日)、消防本部に於いて、各部長のスキルアップ講座が行われました。

始めに、3階講堂にて消防本部村山次長による約1時間の講義を受け、その後駐車場へ移動し、本部職員よりポンプ車及び小型ポンプの実技訓練を行い、点検・整備の再確認をしました。



第55回北魚沼地区支会ポンプ操法競技会

6月23日(日)、魚沼市アルプスアルパイン株式会社駐車場に於いて、ポンプ操法競技の北魚沼地区支会大会が行われ、当市消防団からは、自動車ポンプ操法の部に第3分団、小型ポンプ操法の部に第5分団及び第8分団が出場しました。

ポンプ車操法の部では、第3分団が見事優勝。前回出場の2015年に次ぐ連覇となりました。小型ポンプ操法の部では、第8分団が僅差の2位、第5分団が4位となりました。この結果、第3分団が県大会への出場が決まりました。

また、今回より個人賞が設けられ、下記の通り受賞されました。審査基準は、まず得点ですが、同点であった場合はタイムや内容を精査し順位付けされます。

個人賞 ポンプ車操法の部

指揮者	小千谷市第3分団	関口俊行
1番員	小千谷市第3分団	小野坂明
2番員	小千谷市第3分団	栗田天空
3番員	小千谷市第3分団	新保正義
4番員	小千谷市第3分団	稲餅忍

個人賞 小型ポンプ操法の部

指揮者	小千谷市第8分団	小宮賢人
1番員	魚沼市第4方面隊	橋紘一
2番員	魚沼市第4方面隊	椿伸治
3番員	小千谷市第5分団	平澤凌

ポンプ車操法の部

優勝

第3分団



小型ポンプ操法の部

2位
第8分団



小型ポンプ操法の部

4位
第5分団



北魚沼地区支会ポンプ操法競技大会成績

【ポンプ車の部】

順位	出場隊名	総合得点	出場順
1	小千谷市消防団 第3分団	158.25	1
2	魚沼市消防団 第7分団	129.00	2

【小型ポンプの部】

順位	出場隊名	総合得点	出場順
1	魚沼市消防団 第3分団	68.50	3
2	小千谷市消防団 第8分団	68.00	2
3	魚沼市消防団 第4方面隊	67.00	1
4	小千谷市消防団 第5分団	58.25	4

長期にわたり訓練を重ねた選手並びにそれを支えて下さった団の皆さん、本当にお疲れ様でした。

特別消防団員打合せ会議

6月26日(水)、消防本部3階講堂に於いて、特別消防団との打合せ会議が行われ、本団員と各分団長、特別消防団員が参加しました。

始めに団長挨拶と趣旨説明が行われ、その後、各分団ごとに別れ顔合わせをし、分団内での活動要領や出動車両についての確認を行いました。



令和元年度北魚沼地区支会役員・幹部研修

7月13日(土)、小千谷市民会館大ホールに於いて、北魚沼地区支会役員・幹部研修会として、岐阜県関市消防団長・多田壽夫さんをお招きし講演会を行いました。

この講演会は、消防庁の推進する「消防団等充実強化アドバイザー派遣制度」により講師をお招きしての開催となりましたので、通常の支会役員の研修会と異なり、小千谷市消防団では部長以上の団員にも対象を広げ聴講していただくこととなりました。

講演は第一部「消防団の充実強化について」、第二部「災害現場における消防団活動について」の二部構成で行われました。中でも興味を引かれたのは、関市消防団が消防団としては初のドローン部隊を発足したとのこと。当市消防本部でも導入が予定されているドローンですが、消防団クラスでの運用は驚きです。



第70回新潟県消防大会ポンプ操法競技会

8月4日(日)、上越市高田スポーツセンター隣接駐車場に於いて、県消防大会ポンプ操法競技会が行われ、北魚沼地区支会代表として当市からは第3分団が、ポンプ車操法の部に出場しました。

例年は、意見発表・表彰式が先に行われていましたが、暑さ対策もあり今年から競技を先に行う日程となりました。それでも競技後半はほぼ昼近くになりますので、襲い来る暑さは強烈です。



競技の結果は、普段の練習では出ないようなアクシデントが発生し、残念ながら下位に沈んでしまいました。改めて事前の資機材確認の重要性を認識できました。

選手並びに分団の皆さんは長い期間の練習、本当にお疲れさまでした。操法出場で得た技能を是非とも次の代へ継承をお願いいたします。

おぢやまつり参加

今年もおぢやまつりにPRのため女性部が参加いたしました。以下女性部南雲副分団長よりコメントをいただきました。

8月25日おぢやまつりにて女性部の活動として、横田団員とお祭り広場にいられた子供達へ水消火器の取り扱いの指導、防火衣体験を実施しました。女性消防団としての参加は今年で3年目になります。この活



動を通して、私達の役割としては、子供達が成長段階で日常の防災意識を高めること、将来万が一の時でも消火器の取り扱いができること。子供達の幼少の経験が、将来に役立つと思いで働きかけてます。

そして、現在、小千谷市の消防団員が不足している状況の中で、将来子供達が消防団に入団したい！地域を守りたい！と思ってもらえるような活動を消防団として、今後も実施できたらと思います。

令和元年度小千谷市地区別防災訓練

9月8日(日)、小千谷市地区別防災訓練が、今年を対象地区を桜町、時水、両新田、藪川、山谷、坪野とし、主会場は総合体育館で行われました。

消防団からは、本部と管轄消防団が情報収集伝達訓練を、女性部が負傷者応急処置訓練のサポートを行いました。



片貝まつり花火大会特別警戒

片貝まつり花火大会に係る特別警戒が9月9日(月)、10日(火)、地元消防団と団本部、女性部が会場および周辺の警戒に当たりました。

初日は四尺玉が低空開発となってしまいました。怪我人や燃え広がりも無く安堵しました。

新潟県防災ナビについて

県では7月5日より、スマートフォン向けアプリ「新潟県防災ナビ」の運用を開始しました。

このアプリは県内全域の洪水・土砂災害・津波ハザードマップ等を閲覧する機能などを有するもので、消防団の皆様にも活用してほしいとのことです。

編集後記

10月12～13日、日本各地に大きな水害をもたらした台風19号では、当市も大きな被害を受けました。特に信濃川、湯殿川沿いの分団並びに消防本部、消防団本部員の皆さんは徹夜での警戒・排水作業など本当にお疲れさまでした。

さて、令和元年、新しい時代の幕開けとなりました。消防本部では新はしご車の導入、10月20日の総合演習ではドローンが初披露されます。また消防団は合羽も新しいものが支給されました。本来各記事で細かく紹介すべきところ、編集の未熟さもあり、スペースをとれず申し訳ございません。



団報 火の見やぐら No. 35

発行 小千谷市消防団本部

事務局 小千谷市消防本部総務課内

住所 小千谷市城内3丁目1番9号

TEL 0258-83-0236

FAX 0258-82-0209

Eメール syobou-soumu@city.ojiya.niigata.jp